

あなたと町政を結ぶ

議会だより



みのぶ

2012
GIKAI DAYORI
MINOBU
No.31



富士川舟運復活（「塩の華」から「和紙の里」まで）

（撮影：加藤 武弘さん）

6月定例議会

- 膝を交えて「意見交換」「町民と議員との懇談会」・ P2~4
- 6月定例議会 こんな質疑がありました P6~7
- 6月定例議会で決まったこと P8
- 一般質問 P9~15
- 今後の町村議会のあり方と自治制度 P17
- 学校紹介（中富中学校）・編集後記 P20

「町民と議員との懇談会」

○懇談会の目的

この懇談会は、議員が議会運営状況や課題の取組み状況等について報告し、町民の皆様からの意見や要望などを聴き、意思の疎通を図るため、町民の皆さまとの連携を図ることを目的に年2回の予定で実施しています。

下部地区

- ・とき 平成24年5月13日（日）19：30～21：30
- ・会場 下部温泉会館
- ・参加者 28名（町民15名・議員12名・事務局1名）

Q₁

下部地区公民館は、なぜ初めから太陽光発電システムの設置を考えなかったのか。

A₁

ソーラーシステムは予算的に厳しい。今後、公共施設に設置するよう要望していく。

Q₂

下部温泉会館は避難所に指定されているが、昭和60年竣工の上、自家発電もないので災害時はパニックの恐れがある。

A₂

まず、区長さんから町へ要望書を出してほしい。議員が町に要望する場合、区長からの要望書提出が前提条件となる。

Q₃

避難所の件、清沢・岩欠・大炊平・杉山の住民は、下部中体育館を横目に町民体育館に行かなければならないが、どうにかならないか。

A₃

避難所については何回か一般質問を行っているので、近いうちに見直しされると思う。



その他のご意見・ご要望

- 災害時のトイレ問題は深刻である。雨河内では30数戸で共同トイレの整備を検討している。行政に相談したいと思うが、知恵を貸してほしい。
- 乗合タクシーの件、岩欠や大炊平方面の人は、乗合タクシーで飯富病院へ行けるが、久那土の切房木や北川、市之瀬方面の住民が、町の病院である飯富病院やスーパー等への買い物に行けるよう手立てを講じてほしい。
- 懇談会開催に感謝している。湯町も上水道・下水道を整備してもらったが、下水道への加入者が少なく、今後、町への相談も多々あると思うがよろしくお願ひしたい。

膝を交えて「意見交換」

身延地区

- ・と き 平成24年5月18日（金）19：30～21：20
- ・会 場 身延町総合文化会館2F会議室
- ・参加者 28名（町民16名・議員11名・事務局1名）



その他のご意見・ご要望

Q₁ 現在住んでいるところは、災害により孤立化の恐れがある。身延地区のヘリ発着場を知りたい。

A₁ 旧豊岡小・身延中・大河内小・身延高校の各校庭・八木沢グランド、富士川クラフトパーク・身延町総合文化会館芝生広場となっている。

Q₂ 太陽光発電システム設置者への補助金制度について、国・県・町の補助金はどうなっているのか。

A₂ 例えば3kw設置の場合、国10.5万円、県10万円、町5万円となる。
(国、県の補助金制度には注意が必要)

Q₃ 旧身延町では、夫婦での勤務は出来ない形できていたが、中富・下部は合併後も夫婦での勤務がOKとなっている。この件、身延地区議員は強く町へ要望しているか聞きたい。

A₃ おこなっていない。

Q₄ 平成24年度の当初予算、人件費はどのくらいか。

A₄ 14億2,948万円である。予算総額の18%、町税を上回る額が人件費である。

その他のご意見・ご要望

- 夫婦での勤務、町から給料が出ていることから一人やめてもらい、その分若い人を採用したほうが定住促進に繋がると思う。
- 鳥獣害防止の電気柵、一番壊れやすいのが電源部であり、また高価である。10～15年経つと損傷し、結局放棄地になるので補修・修繕の補助金制度を考えてもらいたい。
- 「防災みのぶ」、火災等の緊急時においても出だしの放送文は同じである。一考を願う。

「町民と議員との懇談会」

中富
地区

- ・とき 平成24年5月12日（日）19：30～21：20
- ・会場 大須成地区公民館
- ・参加者 36名（町民22名、議員13名、事務局1名）



Q₁ 平成24年度予算で、町単独の建設費はどのくらいあるか。

A₁ 約2億9,163万円である。

Q₂ 歳入の75%は国・県への依存財源、25%が自主財源という町の現状をどう考えるか。

A₂ 自主財源が少ないのは、県内町村はほぼ同様である。しかし、財源確保は続けるべきである。

Q₃ 国保税引き上げ、本町は前の段階で対策を講じなかったことが、今回、高い値上げ率につながったのでは。

A₃ ご指摘のとおりだと思う。しかし、医療費の抑制は加入者に期待したい。

Q₄ 国保会計の赤字は1億円である。この補填に一般会計からの繰入れはできないのか。

A₄ 本町では特定のものを除き、繰入れはしていなかった。借入れの形では行われている。

Q₅ 町営・町有バス運行は、有効になされているか。

A₅ 地域ごと、それぞれ成果を上げており、利用者も少しずつ増えている。

Q₆ 静川小学校の跡地は、いつから、どのように利用されるのか。また、身延地区豊岡小学校はどうか。

A₆ 両校の跡地について、町当局から連絡はない。

その他のご意見・ご要望

- 大塩地区の道路の改修をしてほしい。
- 町内乗合タクシーや町営バスの運行経費節減のため、バスを小型にしてはどうか。
- 空き家対策について、もっと積極的に進めてほしい。

望月町長の行政報告



平成23年度一般会計および特別会計決算処理について

23年度決算処理が全会計において黒字決算となりました。

身延山インターチェンジについて

中部横断自動車道への追加インターチェンジとして建設が許可されました。

富士川舟下館について

「富士川下り研究会」が5月25日より観光船での本格運航を始めました。地域活性化の起爆剤となることを期待し舟下りの後、町内の観光施設や宿泊施設に

足を運んでもらえるよう、町も協力していきたいと考えます。

下部地区公民館について

5月20日に竣工式を挙行しました。県産材を使用し、耐震設備がほどこされた近代的で機能的な施設です。活動の拠点として、生涯学習の輪が広がることを期待します。

身延町地域福祉計画について

身延町総合計画を上位計画として、地域福祉分野を推進するための基本計画で24年度から5年間の計画期間です。

基本理念は「助け合い、心のふれあうひらかれた町をつくる」とし、「①支え合いの地域福祉活動を展開する」「②安心して暮らせる福祉環境を整備する」の基本目標を定め推進していきます。

公共下水道事業の加入状況について

波木井地区と船原地区で供用開始し身延処理区すべてが供用開始となりました。

平成24年5月31日現在の接続については、
 ・身延処理区195戸加入、加入率30・0%
 ・下部処理区25戸加入、加入率20・7%
 ・中富処理区988戸加入、加入率65・0%です。

3月31日に14名の退職者と4月1日付け5名の新採用者を迎え、9名減の人事異動を行いました。町の行政は、移動や減員があっても、一時の停滞も許されません。子や孫に「負」の財産を残さないよう、職員と知恵を出し合いながら、先頭に立って参る所存であります。

議会 会 日 誌

3月

○3月定例議会

○町内中学校卒業式

○町内小学校卒業式

○静川小・西嶋小閉校式

○例月出納検査

○町内保育所卒園式

○峡南衛生組合議会

○峡南広域行政組合議会

○飯富病院組合議会

○議会運営委員会

5月

○町民と議員との懇談会
(中富・下部・身延)

○第3回臨時議会

○峡南衛生組合臨時議会

○下部地区公民館竣工式

○例月出納検査

○町村議会議員研修会

○峡南衛生組合県外行政視察

6月

○鴨川市シーフェスタ

2012

○全員協議会

○議会広報モニター・

フォトリーダー委嘱式

○6月定例議会

○例月出納検査

○議会全員協議会

○町内中学校入学式

○町内小学校開校式

○西島小学校開校式

疑問がありました

主な質疑答弁

暴力団排除条例の制定

穂坂議員 第5条に、「町民の責務」が定められているが、町民や学校関係者などが、相手が暴力団かどうかを問うことができる体制づくりはできているのか。

赤坂総務課長 制定後は、あらゆる機会や広報などを通じて事業所、関係機関、関係行政機関等に周知を図っていく。相手が暴力団関係者かどうかは、その都度、南部警察署に照会して通知する。庁内体制も作っていく。

芦澤議員 本町にゆかりの暴力団があることを認識して、この条例をよりしっかりしたものにしていく必要がある。暴力団の関係団体を把握するうえで南

部警察署との連携をとって進める必要があると考えるがどうか。

総務課長 条例の第3条の「基本理念」にある関係機関とは、警察署のことで、関係団体とは「山梨県暴力団追放運動推進センター」等のことである。これらと相互に連絡を取り合って推進していく。

川口議員 この条例の対象になっているのはいわゆる指定暴力団だが、暴力団的行為も取り締まるような内容にしたかどうか。

総務課長 本条例は県警からの参考例をもとに県の町村会で検討して作成し、今回、峡南5町は足並みをそろえて上程したものである。

松浦議員 南部警察署との連携、調整は済んでいるのか。

総務課長 警察との連携、調整等については

まだ行っていない。

外国人登録法の廃止

松浦議員 町内在住の外国人への説明はどうなっているか。

佐野文昭町民課長 今回の改正は、5月7日が基準日で町内在住の外国人は125名で、それぞれ仮住民票を作成した。日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語の5カ国語表記の文書を送って訂正がないかどうか確認している。

国保条例の改正

河井議員 この改正は、均等割、平等割等の減免額に関するものだが、本来、国保税の税率引き上げの時に行うべきものが、今になったものと理解してよいか。

笠井祥一税務課長 税

率引き上げ時に気付かなかったために今回の改正になったものであり、誠に申し訳ない。

一般会計 補正予算

穂坂議員 ①農業振興費の有害鳥獣対策協議会補助金32万円とあるが、この協議会とは、②総務管理費の婚活事

業の予算で、イベントファシリテーターというのは。

竹ノ内産業課長 ①本協議会の目的は野生鳥獣による農林産物の被害を防止し、農林業の発展を図るもので、構成団体は、町・町議会・農業委員会・峡南農務事務所・峡南林務事務所・JA・農業共



外国人登録法廃止の説明書

6月 定例議会

こんな質

済・猟友会・鳥獣保護員の代表者である。本年度は、サルに発信器を装着し、富士見山麓で生息状況を調査し、追い払いの講習を行うものである。

丸山政策室長 ②男女共20名以上の参加によりイベントを行う。フ

アシリテーターというのは、このイベント参加者のよさを引き出し、

コミュニケーションを深めるためのまとめ役の人をいう。

川口議員 サルの生態調査の趣旨と、それに基づいて今後の対策は、

産業課長 生態調査で、集落に集まってくる時期、経路などを調べて

追い払いの参考とする。**川口議員** 全体的に動物の生態系が大きく変化している。総合的な対

策が必要であると思う。**産業課長** すべていちどきにやることはでき

ないので、今回はサルの生態調査を重点的にやるということである。

松浦議員 ①社会福祉費介助用自動車購入等助成金39万円は、

②農業振興費の需用費59万円と役務費30万円

は「地域再生マスタープラン」策定費用という

ことだが内容は、③消防費の備品購入費302万円は衛星携帯

電話とその発電機各8台の購入費用だが、どこに設置するのか。

笠井喜孝福祉保健課長 ①この介助用自動車は軽自動車で、車イス等

で移動する在宅障害者や、介助する人を助成するもので県と町で3分の1ずつ補助するものである。

産業課長 ②「地域再生マスタープラン」は、持続可能な農業実現のためには、新規就農者

を増やすことと農地集積推進が重要であり、農業のあり方を集落ごとに話し合うことが必要であるということ、

県から指示がでたので補正予算を計上した。具体的内容については今後検討する。

総務課長 ③衛星携帯電話と発電機は、8地区の区長に預けて管理

してもらおう。

芦澤議員 災害復旧費の工事請負費2千万円は町道大崩線の延長14

mの道路災害復旧費であるという説明を受けた。費用がかかりすぎ

るように思うが。**藤田建設課長** 道路延長は短い、二次災害防止のために5mの法

面のブロック積みやコンクリート吹き付けが必要であり、これだけの費用がかかる。

財産取得の件

穂坂議員 この財産取得は、江尻窪地内の中部横断道建設発生土の

処理場用地に関するものだが、立木の補償費

や発生土搬入のための工事費はどのようになるか。

建設課長 用地取得後登記手続を行い、国交

省と賃貸借契約し、立木の補償後、平成25年

を目安に、堰堤や搬入路等の工事はすべて国交省が実施する。



発生土処理場への橋梁建設工事

6月定例議会で決まったこと

条例の制定及び一部改正の件

1. 暴力団排除条例の制定
2. 外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
3. 個人情報保護条例の一部改正
4. 国民健康保険税条例の一部改正
5. 下水道条例の一部改正

以上5つの条例の制定及び一部改正を、全員賛成で原案のとおり可決しました。

補正予算の件

1. 一般会計補正予算 8,103万1千円を追加計上。
2. 後期高齢者医療特別会計 補正予算 50万9千円を追加計上。
3. 介護保険特別会計 補正予算 89万9千円を追加計上。
4. 簡易水道事業特別会計 補正予算 533万9千円を減額計上。
5. 農業集落排水事業等特別会計 補正予算 59万3千円を減額計上。
6. 下水道事業特別会計 補正予算 165万1千円を減額計上。
7. 下部奥の湯温泉事業特別会計 32万1千円を追加計上。
8. 広野村上外9山恩賜林保護財産区特別会計 55万円を追加計上。

以上8件の補正予算を、全員賛成で原案のとおり可決しました。

財産取得の件

江尻窪字大洞地内の「中部横断自動車道建設発生土処理場用地」46,927㎡を1,783万円で取得する件

本件は、全員賛成で原案のとおり可決しました。

請願書の件

「取り調べの全過程の可視化を求める意見書」の採択を求める請願（紹介議員 渡辺文子議員）は、賛成少数で不採択となりました。

追加案件

- ・町有バス「ふるさと号」を1,106万円で取得する件
全員賛成で原案のとおり可決しました。
- ・人権擁護委員5名が任期満了になるので、推薦する件（18ページ）（同意案件）
全員同意で可決しました。



6月定例議会

ここが聞きたい!

一般質問

6月定例議会では7議員が質問に立ちました。
以下はその要約です。

質問

光ブロードバンド

開通の費用負担は

弁答

NTT東日本が負担するものと理解している



草間 天議員

商工会が光ブロードバンド回線の早期開通要請を、NTT東日本山梨支店へ行うための署名活動を始めた。

問 災害時等、多くの情報を通信する場合、光ブロードバンドが必要となるが、NTT東日本山梨支店とのこれまでの経過は。

政策室長 NTT東日本山梨支店の営業担当との話で、下山区 ADSLの問題、光ブロードバンドの早期開通を要請している。

問 これまでの経過と最近のNTTとの協議内容は。

政策室長 今年3月下旬、下部地区の有志と

町は、商工会より一緒に行ってほしいとの依頼を受け、県内や町内の光ブロードバンドの状況を調べ、商工会と協議を行う中で、下部、身延、中富地区のそれぞれの地域の状況に合った署名活動を行い、一ヶ月後の5月16日、2412名の署名が集まった。

この活動の期間中、NTT東日本山梨支店とは7回の情報交換や協議を行い、5月17日町長および商工会長連

盟の要望書とともに署名簿を提出した。最近のNTT東日本山梨支店との協議内容は、当町からブロードバンド回線の早期開通に関する要望書を受け取った後、本社との協議を重ねており、町の意向に沿うよう努力をお願いしている。

問 旧下部町のネットワーク下部と事業が重なることで町が消極的になったことはないか。

政策室長 そのようなことはない。

問 NTT東日本山梨支店からの要望は。

政策室長 光ブロードバンドが開通となった場合は、WiFi（ワイ・ファイ）の関係で観光施設等に活用するため、観光関係者や商工会で説明会を催すこととの要望がある。

【Wi-Fi(ワイ・ファイ)】とは、

- ・ Wireless Fidelityの略
- ・ 無線LAN製品のブランド名

【無線LANとは何か】

- ・ ケーブルを使用することなく赤外線や電波や光などを使用し、パソコン間、アクセスポイントとパソコン間などを通信させる技術のことで、電波の届く範囲であれば、ネットワークに接続することが可能。

一言でいうと

- ・ 1台で複数のデジタル機器（パソコン・携帯電話・ゲーム機・音楽プレイヤーなど）接続させることができる端末機となります。



質問
任期満了に伴う
町長選への立候補の考えは

併答
私を育んでくれた
身延町に恩返しをしたい



望月広喜議員

問 町長は「住んでよし、訪ねてもよしおらが身延」と、町づくり
に全力で取り組んでも
らっているが、9月の
町長選に再度立候補し、
町の舵取りを続けても
らいたい。

町長 町長として町政
を預かった4年間、多
くの知人・友人に、私
と身延町のために力を
貸してもらった。この
事と、健康に対する自
信が私の財産であり宝
だ。4年前の町長選に
立候補したのは、私を

育んでくれた身延町に
恩返しをしたい一心だ
った。今もこの気持ち
にいささかも揺るぎは
ない。9月の町長選へ
の立候補は、前向きに
検討したい。

質問
西島小学校ス
クールバスの
安全運行

問 県道遅沢・静川線
の夜子沢地内は道幅が
狭く危険である。スク
ールバス運行時間帯を
優先道路として規制が
できないか。

学校教育課長 公安委
員会は、一般車両の迂
回路や常時運行する
方々の合意など、客観
的な判断をするため、

スクールバス優先道路
規制は困難と考える。

問 安全を考慮し、夜
子沢・石畑の児童を普
通車ですこやかセンタ
ーまで送迎し、スクー
ルバスに乗り換えても
らう方法は可能か。

学校教育課長 本町の
場合、地形的要因から
時間的ロスが生じ、長
時間通学となりやす
い。運行を始めたばか
りでありしばらく状況
を見守る考えである。

問 県道遅沢・静川線
の道路拡幅計画の進捗
状況は。

建設課長 県で概略設
計をして地元で説明会
を開催した。今後詳細
設計や用地測量、用地
交渉を進めて一日も早
い工事着手を図りた
い。

問 スクールバスでの
児童の乗降時の安全確
保のため、旧西嶋公民
館跡地の駐車場を利用

する事は可能か。

学校教育課長 この駐
車場に普通車が5〜6
台駐車しており、難し
い。交番前なので現状
を維持したい。

問 農免道路のJAF
じかわ前での乗降は。
学校教育課長 指摘の
場所は交通量が少なく
幅員もある事は承知し

ているが、その先にな
だらかな勾配の長いカ
ーブがあり、やや見通
しが悪く断念した。

質問
西島小学校の
放送機器の整備

問 西島小学校の校外
用と、屋内運動場の放
送設備が老朽化し聞き
とりにくいのが、設備の

改修と整備の考えは。

学校教育課長 今後実
態の確認を急ぐが、改
修や整備をするとして
も次年度以降になると
思われる。

質問
中学校の新たな
必修科目について

問 今年度の2学期か
ら中学校の必修科目と
して武道とダンスが取
り入れられるが、各中
学校が種目の選択をす
るため、費用面での不
均衡が生じるのではな
いかと思うが、その費
用負担と財源は。

学校教育課長 学校教
育法に、学校経費は学
校の設置者が負担する
とある。したがって全
額、町が負担する。ま
た、教材整備の経費は
地方交付税の財源処置
がされており、新たな
必修科目に要する教材
費の財源も一般財源と
なる。



県道遅沢・静川線夜子沢地内

質問
本町の将来展望
定住促進と予算減額対策について

併答
定住促進に向けた努力と
予算減額対策への準備を進める



松浦 隆議員

質問
定住促進の
推進

問 身延ショッピングセンターコマ跡地を利用した住宅地造成事業計画の概要は。

政策室長 5月16日の第3回臨時議会で、土地取得費用と経費が土地開発事業特別会計として議決された。その後、競売物件のため甲府地方裁判所で購入手続きを済ませ、6月9日売却決定が確定した。今後所定の手続きを済

ませ、住宅用分譲地として販売できる計画をつくる予定である。
問 業者と組んで事業を進めると新聞報道にあったが。
町長 町単独で特別会計で処理をする。新聞報道は誤りで抗議をして翌日訂正記事が掲載された。
問 完売することが最終目的であるが、その取り組みは。
政策室長 隣接地の売買実例等を勘案し検討したい。完売へ向け努力をしていく。
問 住宅用分譲地の交通網の整備は。
政策室長 車の場合は中部横断道のインター

まで10分位である。公共交通の場合は循環バスや乗合タクシーも利用できる、身延線を利用しやすいと考える。
問 その身延線の運行本数が少なく、本町からの通学、通勤者が不便を感じている。特に夕方以降は鵜沢口駅止まりが多く、早急な対策が必要と考えるが。
政策室長 身延線沿線活性化推進協議会で、毎年5月に東海旅客鉄道株式会社静岡支社へ要望書を提出している。今後も鵜沢口駅以南の増便を強く要望していきたい。

質問
予算減額への
対策

問 本町予算の今後の見通しは。
財政課長 本町の一般会計予算は、合併後の平成18年の105億8千万円をピークに、毎

年90億から80億円で推移し、今年度は79億2千万円の予算額となった。さらに平成27年度からは合併算定替えが終了し、毎年交付税が縮減されていく。50%を越える地方交付税に依存する本町としては、大変厳しい状況が予想される。
問 経済活動の低迷等で町税収入が期待できない状況への対応は。
財政課長 平成19年の15億9800万円をピークに税収額が減少している。経済状況から考慮すると今後も厳しいと思うが、宅地造成事業や中部横断自動車道の開通による活性化に期待すると同時に、税の公平化に力を入れて徴収強化で税収を確保していきたい。

問 合併11年目から実施される普通交付税の、合併算定替えを含めた概要説明を。
財政課長 合併算定替えとは、合併前の旧3町に交付されていた交付税を合併後10年間保障する制度である。11年目の平成27年度から1年目が1割、2年目から4年目が2割、最後の年が1割と段階的に縮減され、5年間で新町での本来の交付税の一本算定方式に戻すことである。本町の場合



旧身延ショッピングセンター コマ

の合併算定替えの差額は、平成23年度の交付税で算定をすると9億5千万円余りで、平成32年度以降はこの額が全く削減された交付税となる。
問 合併算定替え後の対策への取り組みは。
財政課長 県の指導もあり、基金の積み立てや繰り上げ償還をすること着々と準備を進めている。

問 安心して医療を受けられるために

答 弁

自主納付が浸透しつつある



渡辺文子議員

問 2年連続して国保税が上がリ、これからどうなるのかと住民は心配している。滞納世帯数は。
 税務課長 平成23年6月1日現在118世帯で、地道な取り組みで自主納付が浸透しつつある。滞納世帯も年々減少している。
 問 国保税を滞納しているため資格証明書を受け取っている人が22年度5世帯、23年度110世帯と多くなっているが。

る人に機械的に資格証を出すつもりか。

町長 そのとおりだ。

問 窓口負担を軽減する国保法第44条の検討はされたか。

町民課長 要綱を制定

したところを参考に、庁内の関係部署内で検討をしていきたい。

問 検討といっているだけでは、本当に困っている人を救えない。町民の命を救うために制定が必要だが。

町長 内容等をよく検討し考えていきたい。

問 国保税の住民負担軽減を進めるには、予防に力を入れて医療費を抑えることと一般会計から繰り入れる事だと思いが、一般会計の繰り入れは違法なのか。

町民課長 町民課、税務課、福祉保健課、生涯学習課で対策会議をした。総務省の通達で

決められた経費以外行うべきでないとなり、それに従う。



下山中学校跡地

質問 お年寄りも利用できる場所に公民館建設を

でそのほかはできない。

問 国保の運営は町で、住民の健康や命を一番に考えるべきだ。通達があっても、全国的にも一般会計の繰り入れが増えている、山梨県でも21年度11億円だったものが22年度は20億円に増えている。

町長 繰り入れできる範囲でしている。通達

問 下山地区公民館建設は計画が住民に示され8年にもなる。下山中学校跡地に決まったが、お年寄りが遠くへ行けなくなってしまうと困っている。地元やお年寄りの意見をどう考えたか。

町長 24集落についていないのがいいとは思わない。どのように解決して行くか考えていきたい。

問 利用している人たちにとっては助かっていると声を聞く一方で、利用したくてもできない人がいるが。

政策室長 現在、乗合タクシーは24集落にいていない。公共交通機関なので民間タクシーと同じような対応ができない。

町長 24集落についていないのがいいとは思わない。どのように解決して行くか考えていきたい。

教育長 老人クラブの方々もいろんな意見があり、念頭に入れながら物事を進めてきた。建設場所は各地区から代表を選び1年かけて下山小中学校の周辺という答えがでている。

質問 町民誰もが利用できる乗り合いタクシーに

問 利用している人たちはとても助かっていると声を聞く一方で、

利用したくてもできない人がいるが。

政策室長 現在、乗合タクシーは24集落にいていない。公共交通機関なので民間タクシーと同じような対応ができない。

町長 24集落についていないのがいいとは思わない。どのように解決して行くか考えていきたい。

町長 24集落についていないのがいいとは思わない。どのように解決して行くか考えていきたい。

町長 24集落についていないのがいいとは思わない。どのように解決して行くか考えていきたい。

町長 24集落についていないのがいいとは思わない。どのように解決して行くか考えていきたい。

町長 24集落についていないのがいいとは思わない。どのように解決して行くか考えていきたい。

町長 24集落についていないのがいいとは思わない。どのように解決して行くか考えていきたい。

交通ネットワーク、 国道300号の整備概要は

質 問

トンネル・橋梁を主体とした
ヘアピンカーブ・幅員狭小区間
解消の道路整備である



野島俊博議員

問 峡南地域の活性化を図るため、身延山、下部温泉郷、富士山の観

光拠点を繋ぐ国道300号整備の背景を聞く。

建設課長 国道300

号は、峡南地域と富士北麓地域を結ぶ唯一の幹線道路であり、緊急輸送道路として、また、災害時の避難路や輸送路としての機能をも備えている。

本栖湖から中之倉の間は、急峻な地形で道路の線形が悪くヘアピ

ンカーブの連続で、観光バスなどの大型車には交通の難所である。このため、県の配慮により地域振興や観光振興を図るため、広域周遊ルートとして中部横断自動車道開通に合わせ整備するものである。

問 中部横断自動車道開通と国道300号整備による地域活性化の戦略は。

町長 中部横断自動車道が開通すると、日本海および太平洋、臨界地域、長野県、静岡県との連携や交流が促進され、ネットワークの構築、物流体系の確立や広域的観光の開発が期待できる。



中之倉地内国道300号交通難所（ヘアピンカーブ）

また、地域振興や観光振興においても、富士山や富士五湖への観光客は、富士山世界遺産登録がなされれば更に増加が見込まれ、当町への誘客のため、国道300号の整備が先決であると考えます。このことに対して、国のご理解と県のご配慮によって、整備区間の中にはループトンネ

ルが建設され、これが観光資源となり、大型観光バスの安全運行により、入り込み客増加も期待できる。道路整備による利便性により、静岡市や甲府市への通勤が可能となることから若者が入り、そして、若者が入れば定住できるような宅地分譲も必要となり、環境整備も必要となると

質 問 多様な交流の力を生かすには

問 県や市町村、地域団体、民間企業等が協働により、それぞれの役割を理解しながら相互に連携を強化し進めることが重要と考えるが、この役割分担についての考えを聞く。

政策室長 町では、町民の皆さんが、知恵を出し合って取り組むコミュニティビジネスを応援するとともに、新たに起業しようとする町民には協力を惜しまず、雇用・就労の場をつくり出すとともに定住促進に繋げて行きたい。また、企業においては景気低迷・円高によ

質 問 人づくりについて

問 人を育てることこそ町民の期待に込めること。リーダーの養成について特別な施策はあるか。

政策室長 山梨県市町村職員研修所主催の研修に重点をおいて、マネジメント(経営管理)、コミュニケーション(意思の伝達)について実践的に学んでいる。今後も、リーダー一人ひとりの能力を最大限発揮できるようにシステムの構築を目標に、リーダ養成を行っていききたい。

質問

夫婦共稼ぎの役場職員に たいしての対応は

弁答

職員の自発的な判断に 委ねる



芦澤健拓議員

の件について町長はどの
ように考えるか。

問 前町長は、夫婦共
稼ぎの役場職員につい
ては検討委員会で検討
すると述べていたが、
実際に検討されたのか。

総務課長 課長会議で
結論を出すことになっ
ていたが、法的な問題
もあり、個人の倫理観
に委ねることになった。
現在、夫婦で役場職員
というのは12組ある。

問 旧身延町では夫婦
共稼ぎ職員は勤務でき
ないという不文律があ
ったようだ。合併後は
認められているが、こ

町長 夫婦で町職員で
あるものを採用したこ
とはない。採用後、夫
婦になった者を強制的
に退職させることはで
きない。職員の自発的
な判断に委ねるしか
ないと考えている。

問 町外から通勤してい
る職員は何人いるか。

総務課長 現在30人で
あり、男性15人、女性15
人である。女性は保健師
1名、学芸員1名で、残
り13名は結婚で他町村に
嫁いだものである。

問 町外から通勤して
いる職員の内、住所を
町内に置きながら、他
町に居住している者が

いるというのが本当か。

総務課長 現在本町に
住所を置き、町外から
通勤している者は7名
いる。それぞれ家庭の
事情によるものである。
職員には可能な限り
町内に居住するよう
に促している。

質問 児童保育の現 状は

問 新築の下部地区公
民館の児童保育専用室
は、5月末現在、まだ
使われていないという
事だが。

子育て支援課長 備品
の搬入作業や備品の配
置等、児童がすごしや
すい環境作りのための
移転準備を進めてお
り、特に問題があるわ
けではない。

問 学童保育の現状は。
子育て支援課長 下部
地区24名、中富地区は西
嶋24名、原26名、身延地
区は身延77名、豊岡29名

である。指導員数は身延
が3名で、他は各2名が
常駐している。

問 学童保育に求める
ものはなにか、施設設
備に改善点等はないか。

子育て支援課長 女性
の社会進出や核家族化
の進行で、学童保育の
必要性は高まっている。
指導員と連携を密にし
て、学童の放課後生活
を守っていけるよう充
実していく。子どもに
危険が及ぶような施設
があれば改善する。

質問 災害時避難所 の選定は

問 「町民と議員との
懇談会」で、避難所の
設定について疑問点が
出された。避難所の設
定基準は。

総務課長 「災害に対
して安全であり給食設
備を有する、または比
較的容易に搬入給食が
可能な場所を選定する」



避難所の一つに指定されている下部地区町民体育館

とされている。避難地
も避難所も、今後は地
域住民の意見等を聞い
て選定していく。

問 今後は、旅館、ホ
テル、寺院、神社など
民間施設の提供を依頼
することも含めて決め
たらどうか。

総務課長 現在「興邦
会しもべ荘」と災害時
の協力について協定を
締結している。今後は

民間施設との協力協定
を締結する方向で取り
組んでいきたい。

質問 地域防災計画 の見直しは

問 地域防災計画の見
直しは。

総務課長 本年4月に
県の防災計画が示され
たので、それとの整合
性を図り、本年中に全
面的な見直しを行う。

質問 耕作放棄地に対する今後の対策は

答弁
農地として復元できる土地と森林資源として活用できる土地とに分けて見直しを行う



川口福三議員

問 耕作放棄地対策をどのようにしていくか。
産業課長 本町の耕作放棄地は1804ヘクタールで、県全体の4分の1を占めている。農地として復旧できる土地と森林資源として活用を図る土地とに分けて減少させたい。中山間地域直接支払い制度や農事生産組合法人の参入などを放棄地解消につなげたい。
問 町内の耕作面積は。
産業課長 本町の耕作

面積は983ヘクタール、農業振興地域は689ヘクタールである。
問 再生困難な放棄地対策にどのように取り組んでいくのか。地区を区切って行うのか。
産業課長 今のところ地区を区切って行うような計画はない。
問 農産物の補助金制度は
問 町内の農産物は、どんなものがあるのか。
産業課長 野菜が主なものだが、推奨しているものは曙大豆、水稲、麦、ソバなどである。
問 他町では、作付補助金を交付して、放棄地対策を行っている

聞いている。鳥獣害に強い作物を行政として指導奨励し、それに對して補助金を出すようなことは考えないか。
総務課長 本町では大豆出荷奨励金があり、1kg1000円を出している。枝豆についても同じ。国では、個別所得補償制度があり、事務手続を行っている。他の奨励金制度はない。
問 町内の農産物はどのように利用されているか。
産業課長 地産地消としては、①直売所等での販売②学校給食での食材利用③観光資源④特産加工品としての利用を行っている。①は「ゆばの里」等での販売②は、大豆、枝豆、サツマイモ、シイタケ、ゆばを食材に利用③は、

質問 地産地消の取り組みは

手打沢のハチクの収穫体験、「結いの郷」や相又地区でのジャガイモや野菜の収穫体験など④は、下部特産物食品加工組合で、小梅・きやらぶき・味噌・緑茶の加工販売を行っている。
問 学校統廃合後期計画は。
教育長 前期計画は終了し、保護者・住民・議会の意見やアンケート結果を可能な限り反映させて、遅くとも平成31年度までには終了させる。
問 その進め方は。
教育長 後期計画は、今後7年以内に終了したい。学校の配置、管理、廃止は教育委員会に権限があるが、これを検討する機関が必要である。
問 廃校になった小学

校の管理は。
政策室長 豊岡小の校舎とプールは施設したまま管理している。静川小の管理は関係課と協議を行って決める。
問 廃校になった学校の関係者は、皆さびしい思いをしている。廃校舎の扱いについて、どうする予定か。
政策室長 廃校舎の取り扱いについては、老朽化の程度、施設の規模、立地、敷地面積、施設の利用希望の有無等を配慮して政策室・財政課が中心になって、総務課・学校教育課・生涯学習課と検討して決める。



旧静川小学校

5月に臨時議会を開催

5月臨時議会の議案

■ 下部地区公民館の竣工に伴い、身延町公民館条例の一部改正を行う。

■ 土地開発事業に係る特別会計を新設するため、特別会計設置条例の一部を改正する。

■ 一般会計より土地開発事業特別会計に61万円を繰出すため、増額補正する。

※全て全員賛成で可決
■ 専決処分3件

◇ 地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正するため、税条例の一部を改正する。

◇ 地方税法及び国有資産等所在市町村交

付金法の一部を改正

する法律が交付されたため、国民健康保険条例の一部を改正する。

◇ 平成24年2月25日

の降雪に伴う除雪費及び地方交付税の交付決定により280万円の増額補正を行う。

※全て全員賛成で可決

■ 特別会計新設の件

◇ 身延シヨッピンゲンセンターコマの建物と用地を取得するため、土地開発事業特別会計を新設する。

■ 財産を取得する件

◇ 身延シヨッピンゲンセンターコマの土地建物身延町丸滝地内約9270㎡の土地同所 鉄骨造陸屋根3階建 約3940㎡の建物を購入する。

◇ 平成24年度一般会計予算として3億5980万円を計上する。

※全て全員賛成で可決

峡南衛生組合議会

(3月22日開催)

◇ し尿処理用の攪拌ポンプ修繕費として480万円を増額補正する。

◇ 町維持負担金返金分等として、1812万円を減額補正する。

◇ 平成24年度一般会計予算として3億5980万円を計上する。

※全て全員賛成で可決

飯富病院組合議会

(3月28日開催)

◇ 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する。

◇ 病院事業費用として1200万円を増額し、建設改良費として4455万円を

減額する。

※全て全員賛成で可決

峡南広域行政組合

(3月30日開催)

◇ 共済組合負担金等として828万円を増額補正する。

◇ 共済組合負担金等として93万円を増額補正する。

◇ 山梨県市町村総合事務組合規約の一部改正を行う。

◇ 火災予防条例に関する条例を一部改正する。

◇ システム構築委託料・電算システムリース料等として1937万円を減額補正する。

◇ 介護保険特別会計の施設入所処遇費等として92万円を減額補正する。

◇ 峡南ふるさと市町村圏特別会計の基金



峡南衛生組合「し尿処理施設」

への積立金等として371万円を増額補正する。

◇ 平成24年度峡南広域行政組合一般会計予算として15億6989万円を計上する。

◇ 平成24年度介護保険特別会計予算とし

て2億3332万円を計上する。

◇ 平成24年度峡南ふるさと市町村圏特別会計予算として2538万円を計上する。

※全て全員賛成で可決

全国町村議会議長・副議長研修会に参加して



今後の町村議会のあり方と自治制度

副議長 望月 秀哉

・日程

5月29日～30日

・研修先

メルパルクホール

(東京)

1日目

《事例報告》

議会活性化への取り組み

埼玉県嵐山町議会

議会活性化への取り組みは、議会経費の削減を目的として行財政改革特別委員会を設置し、議員定数の削減等を行う一方で、議会として率先して地域の諸行事に参加し住民と相互の理解関係を深めている。

《シンポジウム》

今後の町村議会のあり方と自治制度

近年、議会基本条例

が全国で15%位の市町村で制定されている。基本条例を見ていくと、「作成すればよい」という考えで内容に大きな問題がある。条例制定に際しては中身を本心に議論し、住民の意思を無視することなく制定していくことが大事であり、検証してみると議員自らが条例違反をしている状況にある。

住民は、議員は地域に根ざし地域の意見を議会に反映してくれると期待しているが、近

年においては「根無し草」的な議員が出馬して当選し、議会に混乱をきたしている。新しい議会を目指すためには、各自が再度議員としての立場を確認することが大事である。

【気がついた事から、できる事から一歩ずつしていくことが議会改革】

2日目

《講演》

○日米文化比較論

・講師 山形弁研究家

ダニエル・カール氏

東日本大震災において、外国人として日本語ではなく英語で現地の情報を、ネットを通して発信していく。外国の人たちは状況把握がなかなか出来ないの、24時間体制で発信した。問合せにも必死で対応した様子を涙ながらに話す。

災害にあったとき誰が日本語の話せない外国の人たちの事を考え

てくれるだろうか。今後の災害対策に一石を投じられた感があった。

○議員の健康管理術

・講師 人間総合科学
大学教授・東京医科歯
科大学名誉教授

藤田 紘一郎氏

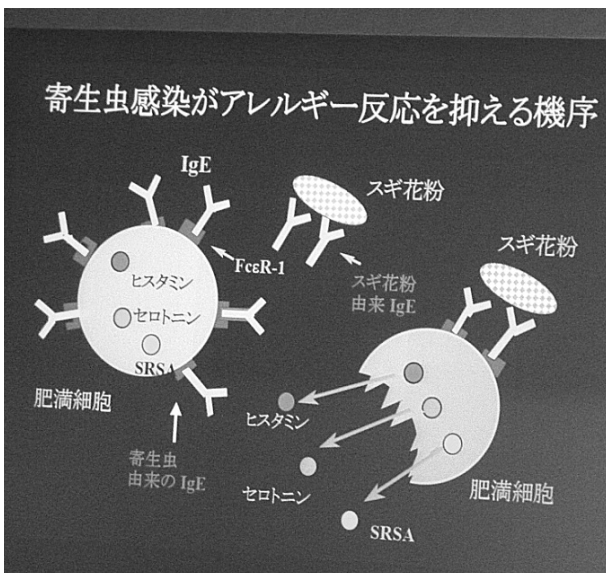
日本人は、すぐに善悪を決めつけたがるが本来善い人・悪い人はいない。体に例えると善玉コレステロールと悪玉コレステロールがあるが心筋梗塞を起こす確率で悪玉が少ない

ほうが良いということだ。しかし、悪玉には性ホルモンを作るといふ働きがある。

近年、寄生虫病が増加傾向にある。寄生虫も悪者ばかりではなく上手に付き合う方法を見つけると、花粉症やアトピーが防げるそう

だ。

免疫力を高める方策を個々で持ち合わせていかなければならず、それが生きる力ともなり活力ともなる。



「寄生感染がアレルギー反応を抑える機序」
藤田教授の講演資料から

追跡 あはれはあったか？

下山地区の富士川護岸

(堤防)の見通しは

問：富士川橋右岸から下流の富士川護岸の堤防工事の見通しについて

・国土交通省の河川整備計画では、富士川橋右岸から下流（荒町）までの間は、堤防の整備計画期間に入っているが、現時点では実施計画はない。しかし、堤防の建設については地形的に追跡調査の必要があつて、この調査を行った後、中部横断自動車道工事用残土処理場として活用している区間は、水防拠点の計画地であることから、今後の安全を確保するため早い段階に国土交通省で堤防を整備してもらう事になっている。

人事

■人権擁護委員

遠藤 和美氏

(中山)

千須和百合子氏

(帯金)

望月 さと子氏

(梅平)

渡邊 力氏

(常葉)

深澤 正史氏

(伊沼)

◇人権擁護委員とは

法務大臣から委嘱を受け、国民の基本的人権の侵犯を監視し、もし侵犯されたことが判明した場合には、その救済に適切な措置をとるために設けられている。

議会広報モニター と フォトリーダー が 委嘱されました

モニター通信

このコーナーは、議会広報モニターさんに、通信用紙を送付し、議会だよりNo.30についての感想をお寄せいただいたものです。ご協力ありがとうございました。

◇表紙について

・遠足の楽しさや不安や緊張感やら、子ども各人の持ち味が見えてきます。(微笑んでしまうような暖かい写真で、心が癒されました)

◇平成24年度当初予算

・地場産業の貧弱なわが町が、地方交付税に大きく依存している町の財政がよく分かった。「上の意向をうかがわなくては生きられない」という町の体質が寂しい。

◇委員会レポート

・入湯税の滞納額が上位とは恐れ入りました。「儲けには口をつぐみ、納税の義務には目をつぶる」という企業のあり方は遺憾というしかない。収入を隠せない勤め人が気の毒だ。

◇一般質問

・水力発電の特徴という囲み記事は、スペースを埋める為に記載したように感じる。

◇町長施政方針・教育委員長教育方針

・町の行く末を示す施政方針なので、もう少し大きな記事で詳細に取り上げてほしいのではないかと。

◇3月定例会でできたこと。

・表示の方法がわかりやすい。内容では補正予算の差金の高額にびっくり。安全で安いは歓迎だが、一体予算は何だったのか。

◇臨時議会・組合議会

・一部事務組合議会については、内容が理解できない。

◇写真・意見・感想の募集

・スペースに無駄があると思う。

◇学校紹介・編集委員会だより

・地域に根ざした学校の様子が理解できる。

モニター

波木井 遠藤 晴男氏
大城 望月 信征氏
梅平 井出 久江氏
身延 遠藤 公久氏
飯富 土橋 朝美氏
中山 遠藤 一彦氏
古山 内藤 政次氏
上田 二宮 美仁氏
常葉 高橋 清美氏

フォトリーダー

大野 深澤 徹氏
身延 熊王 秀臣氏
常葉 小林 昭信氏
下部 依田 啓史氏
西嶋 加藤 武弘氏
西嶋 望月 幹雄氏

平成24年・平成25年の2年間、親しみやすい広報づくりにご協力をお願いします。



下部地区公民館

平成24年5月20日多数の関係者が出席する中で、下部地区公民館竣工式が挙行されました。

昭和47年に完成した「旧下部町山村開発センター（通称「下部開発センター」）が老朽化と

耐震性に問題ありということで、平成22年に解体撤去されました。

翌23年から24年にかけて下部地区公民館建設工事として2億6千万円をかけて行われ、このたびの竣工式を迎える運びとなりました。

開発センターは、当時としては画期的な建築技術で造られたものでしょうが、寄る年波には勝てず、ついに最後を迎えました。

新公民館は、ステージのある多目的ホール、和室（控室）、2つの研修室、調理実習室、図書室、事務室、学童保育室などを持つ、平屋建てでバリアフリーの建物です。

県産の木材を使用したもので、木造建築としては、県内一の大きさだそうです。

当初、地域審議会委員が主体となって、下部地区選出議員もメンバーにして「建設準備委員会」が発足し、公民館の仕様について議論したのですが、いよいよ建設の運びとなった時に議員は外され、審議会委員が中心の「建設検討委員会」が、公民館の仕様について検討するという形で進行了しました。町及び教



エントランス



図書室のパソコン3台

育委員会の意図については知る由もありませんが、我々議員とすれば釈然としないものがあります。

当館の図書室は、名称は「下部図書室」です。まだ蔵書は十分ではありませんが、身延町立図書館・中富図書室とリンクしていますので、ネットで蔵書を検索できるし、貸し出しもできます。

パソコンは3台ありますが、ちよつと古く、光ファイバーが導入される日も近いので、で

きるだけ早い機会に1台だけでも新しい機械を設置してもらえればと期待しています。

多目的ホールと学童保育室は床暖房になっ

ています。学童保育室は、今まで支所の2階に間借りしていた形ですが、今後は独立した施設で、良い指導員に囲まれて楽しい時間を過ごす事が出来ることになり大変よかったです。思います。

今後は、地域住民だけでなく、全身延町民が、会議や文化活動などにおおいに利用してもらえる使い勝手のよい施設としてますます充実したものになるよう、町も議会も、見守り育てていくことが肝要だと思えます。



専用学童保育室



中富中学校全景

校是「協働創造」 中富中学校



中富中学校が建っている場所は、城山と呼ばれています。それは、1582年に起きた本能寺の変後、徳川家康の命により相模の国、北条氏の侵攻に備えるためにこの地に城が築かれ、菅沼藤藏定政が20年間守備に当たりました。それゆえ、菅沼城跡、城山と呼ばれてきたわけです。この城山に建つ本校は、北から南に流れる日本三大急流の一つである富士川と、その流れに沿って延びる国道52号線を眼下に、西の巨摩山地最南端に位置する富士見山に抱かれ

ています。昭和47年4月1日、曙・甲南・原中学校が統合し、旧中富町統合中学校として、中富中学校が誕生しました。昭和49年4月27日、この城山の地に校舎が竣工し、実質的な中富中学校教育が行われるようになりました。そして、平成16年9月には、校名が「身延町立中富中学校」となります。ちなみに、実質統合である昭和49年の生徒数は407名であり、昭和63年には177名となり、平成24年現在85名となりました。中富中学校の教育活動の特色の一つは、創立以来受け継がれている合唱「ハレルヤ」に代表される文化活動です。学園祭では、必ず演劇を上演する伝統も持



しろやま「全校合唱」

っています。学園祭「しろやま」は9月8日（土）に本校で、音楽祭は11月23日の勤労感謝の日、身延町総合文化会館で開催されます。町民の皆様のご来場をお待ちしています。二つ目は、「わかる授業、生き生きとした生

活の創造」というテーマで、創立以来、毎年実施されている公開研究授業の発表です。全国的にもまれな実践であると思いますが、「教育活動を真に子どもたちのものになるようにしたい」という願いから出発したものであります。今年41回を数え、11月2日に実施します。

今年度はこれまでの成果を踏まえ、県教委指定2年目、「学力向上パイロットスクール事業」を大いに活用しながら、学校づくりの更なる推進を図っています。そして、新学習指導要領完全実施の年でもあり、教育的物的環境と人的環境が相まって、中富中学校教育がますます充実、深化、進化することを確信します。

(校長 中 千博)

編集委員会 だより

昨年、東日本大震災から、大津波・地震・放射能汚染・猛暑・豪雪・竜巻・集中豪雨・季節はずれの台風と異常現象のオンパレードです。そして災害復興策・原子力発電所の再稼働・消費税の増税問題・沖縄の基地問題等々、政府も混迷が続き今年には国にとっても大きな節目の年になりそうです。

本町でも任期満了による町長選挙と、議会議員2名の欠員による補欠選挙が9月に行われ、新たなスタートを切る事になります。今後の町の運営を左右する大事な選挙です。我がふるさとの町づくりの推進と、町民の考えが反映できる選挙にしていきましょう。

(編集委員 松浦 隆)